

緒方町 上緒方 地区

青丸⇒豊後大野市の平均と比較して結果がよかった項目（点線は少しよかった項目）
赤丸⇒豊後大野市の平均と比較して心配な項目（点線は少し悪かった項目）

人口

◆人口・世帯数

人口 667人
世帯数 333世帯



◆人口に占める高齢者の割合

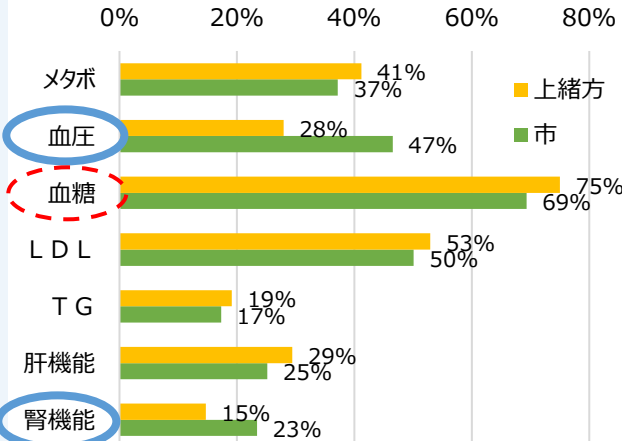
65歳以上 62.7%（市全体 44.6%）
75歳以上 40.0%（市全体 25.6%）

豊後大野市内の25地区のうち人口は11番目に少なく、高齢化率は5番目に高くなっています。

健診

〈国民健康保険：40歳～74歳〉

◆健診有所見率(n=68)



市平均 44.1%

健診受診率 42.0%（市内25地域中14番目）

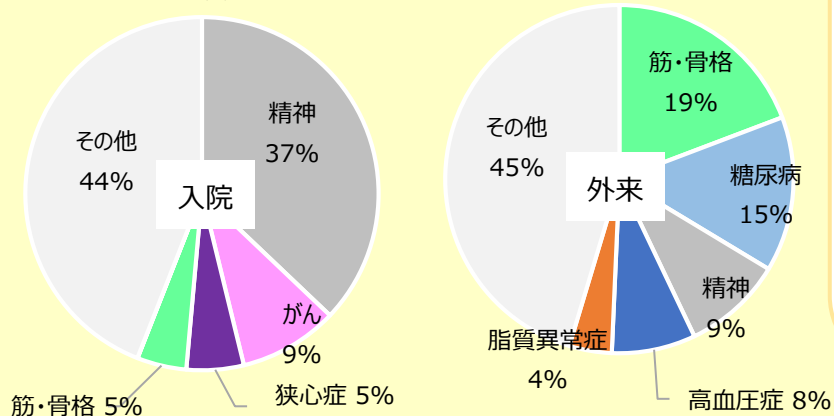
◆生活習慣（健診時の質問票より）(n=68)

	上緒方	市
たばこを吸っている	14.3%	12.2%
20歳時体重から10kg以上増加	37.8%	33.3%
人と比べて歩くのが遅い	71.0%	63.0%
人と比べて食べる速度が速い	23.2%	27.4%
間食を毎日とっている	23.2%	17.1%
週3回以上朝食を抜くことがある	4.3%	5.6%
お酒を毎日飲んでいる	27.5%	26.0%
睡眠が十分とれていない	23.2%	27.3%

医療

〈国民健康保険：40歳～74歳 (n=170)〉

◆医療費に占める疾患の割合



入院医療費の約4割は精神で、狭心症も高くなっています。

外来医療費の上位を占める糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病は重症化すると、狭心症などにつながりやすくなるといわれています。

生活習慣病を適切にコントロールし、重症化を予防しましょう。

健診結果から、血糖値が高い人の割合が、やや高くなっています。また、LDL(悪玉)コレステロールやTG(中性脂肪)が高い人、メタボの人の割合が少し高くなっています。

健診時の質問票から、「週に3回以上朝食を抜くことがある」と回答した人の割合が高くなっています。

間食でのエネルギー量が多くなると高血糖につながりやすくなります。

自分の体の変化に気づくためにも、毎年健診を受けましょう！



健診 （後期高齢者医療保険：75歳以上）

健診受診率 26.0%（市内25地域中9番目）

◆生活習慣（健診時の質問票より）（n=68） 市平均 21.6%

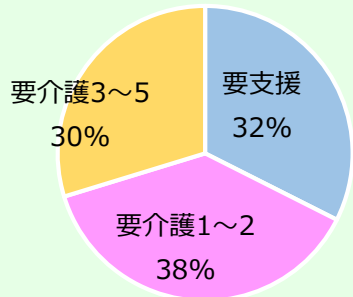
	上緒方	市
健康状態がよくない・あまりよくない	13.2%	10.3%
お茶や汁物等でむせる	17.6%	21.2%
6ヶ月で2～3kg以上の体重減少あり	20.6%	12.4%
以前に比べて歩く速度が遅い	61.8%	60.3%
この1年に転倒あり	16.2%	19.6%
ウォーキングなどの運動習慣あり	48.5%	61.6%
同じことを聞くなど物忘れあり	14.7%	15.6%
週に1回以上の外出あり	88.2%	89.5%

介護 （65歳以上）

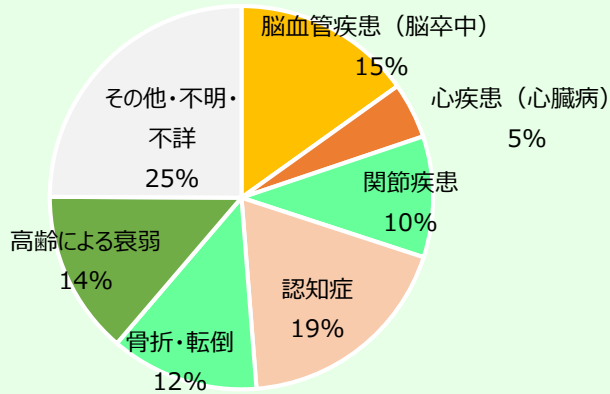
◆介護保険の認定を受けている人の割合

市平均 20.8%

17.7%（市内25地域中23番目）



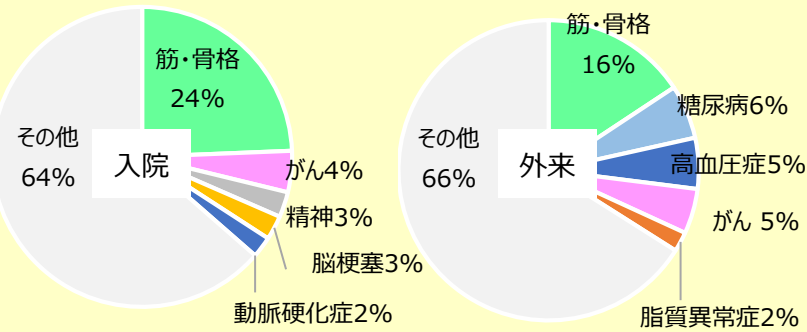
◆介護が必要となった主な原因（全国統計）



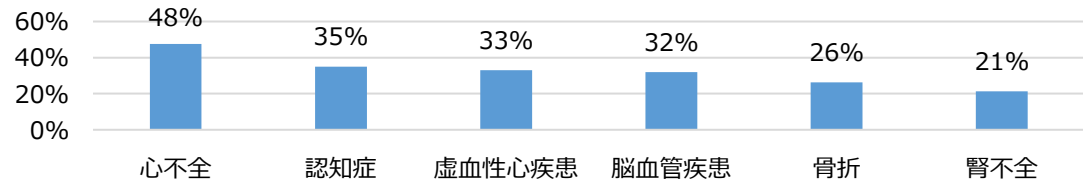
資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成28年）

医療 （後期高齢者医療保険：75歳以上）（n=265）

◆医療費に占める疾患の割合



◆介護認定を受けている方が罹っている疾患



入院医療費では、筋・骨格が最も多く、脳梗塞、動脈硬化症も高くなっています。これらの疾患が重症化すると、介護が必要になる可能性が高くなります。

外来医療費の上位を占める、糖尿病、高血圧症、脂質異常症を適切にコントロールすることで、重症化を予防できます。



ワンポイントアドバイス！

～低栄養予防～

低栄養状態が続くと、体の筋肉が落ちるだけでなく、認知症や脳卒中、心筋梗塞の恐れアップ！

1. 1日3食しっかり食べる
2. 毎日バランスよく食べる（主食・主菜・副菜）
（特にタンパク質を意識して！）
3. 自分にあった運動をみつけ、こまめに体を動かす



【参考資料】 人口・介護 令和4年3月31日時点データより（高齢者福祉課作成）
介護度別疾病状況：DHPシステム 高齢者フレイル経年票（令和3年度）
医療）MAPシステム疾病分類別医療費分析～生活習慣病分類～（令和3年度抽出）

（健診）健診有所見：KDBシステム保健事業介入支援管理～健診受診あり～（令和3年度抽出）
生活習慣：MAPシステム質問票調査の状況（項目別）（令和3年度抽出）

令和4年12月 豊後大野市役所市民生活課健康推進室 作成